



みなみっ子

学校教育目標

自立

協働

創造

59号

令和8年9月2日(水)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

防災の日に寄せて:ご家庭で確認していただきたい「3つの約束」

昨日の9月1日は「防災の日」でした。災害はいつ起こるかわかりません。お子様が学校にいる時間帯だけでなく、登下校中や放課後、休日に発生する可能性もあります。ご家庭での備えを見直すきっかけとして、ぜひ本日、お子様と一緒に以下の3つのポイントについて話し合ってみてください。

1 家族の「連絡方法」を決めておく

災害発生時は携帯電話の回線が混雑し、電話がつながりにくくなります。

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方をお子様と一緒に確認する。

LINEやSMSなどの文章連絡を活用するルールを作る。

連絡が取れない場合の「集合場所」(近所の公園や避難所など)を具体的に決めておく。



2 通学路・遊び場の「危険箇所」をチェックする

通学路やよく遊ぶ場所には、地震や大雨の際に危険になるポイントが潜んでいます。

ブロック塀や古いフェンス(倒壊の危険)

自動販売機や電柱(倒れてくる危険)

用水路や増水しやすい河川・低地(大雨時の危険)

「もしここで大きな地震が来たらどうする?」とお子様と一緒に考えながら、通学路を歩いて確認することをおすすめします。

3 「防災リュック」と「備蓄品」の点検

お子様の成長は早いので、防災リュックの中身が今の体格や年齢に合っているか確認が必要です。

衣類や靴のサイズが小さくなっていないか。備蓄している食品や水の賞味期限が切れていないか。

お子様自身が持ち運べる重さになっているか。



【学校からの連絡方法について】

災害発生時、児童の引き渡しや一斉下校に関する連絡は、南城市メール配信システムにて行います。(南城市公式 LINE に登録している方は再度送信があります。)スマートフォン等の受信設定および登録内容(電話番号・メールアドレス)が最新のものになっているか、今一度ご確認をお願いいたします。ご家庭での日頃の備えとコミュニケーションが、お子様の安全を守る大きな力になります。ぜひこの機会にご家庭での防災について話し合ってみてください。

災害は「学校にいる時」に起こるとは限りません。



今週末の家族ミッション: お子様の安全を守る3つのステップ

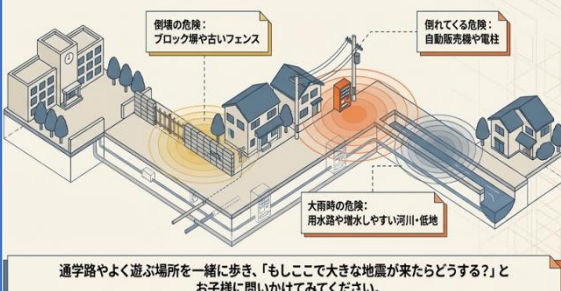
ご家庭での備えを見直すきっかけとして、以下の3つのポイントについて話し合ってみてください。



状況に応じた「最適な連絡手段」を家族で共有しましょう。

Disaster Communication Matrix

	災害時のつながりやすさ	メッセージの保存	適した用途
通常の音声電話	×	×	日常の連絡
災害用伝言ダイヤル 171	○	○	家族全員への安否報告
LINE / SMS	○	○	現在地の共有や短い連絡



衣類や靴のサイズが小さくなっていないか?

食品や水の賞味期限が切れていないか?

今のお子様自身が持運べる重さになっているか?

ご家庭での日頃の備えとコミュニケーションが子どもたちの安全を守る大きな力となる!